

1990.10.19 PM4:00 京都市美術館

1990.10.19 京都市美術館 奥田修三

学力テスト闘争の回顧

辻 能順

本を読み医療住民運動に参加する

増田葉子

伝統と革新 鯖寿司とポタージュ

岩井忠熊

会員来信

源 照子

闘争

前編(五)

年頭のごあいさつ

田中 豊蔵

学力テスト闘争の回顧

辻 能順

憲法第三十四条

『何人も、理由を直ちに告げられ、且つ、直ちに弁護人に依頼する権利を与えられない。又、何人も、正当な理由がなければ、拘禁されず、要求があれば、その理由は、直ちに本人及び弁護人の出席する公開の裁判で示さなければならない。』

一九五八年（昭和三十三年）九月二十五日、文部省の依頼を受けた府教委が学力テストを実施しようとしたが、久美浜高校分会は、京

教組・府立高校教組の方針に従つて拒否闘争を組み、学力テストは不能となつた。

これに対して刑事弾圧が加えられ、十月五日早朝には橋本信一分会長が、翌六日早朝には分会書記長であった私が逮捕され、橋本分会長は峯山警察署に、私は網野警察署にそれぞれ留置された。逮捕されて三日目の十月八日朝、

私は宮津刑務所（現在その跡地は法務局となっている）に移され、以後十月二十六日の釈放まで宮津刑務所に拘置されることになった。

逮捕されて後、網野警察で「逮捕は不当だから直ちに釈放してもらいたい。弁護人は組合が選定する弁護士をつけてもらいたい」という趣旨の事を要求し、一方弁護団は、憲法四十三条にもとづく拘置理由開示公判を開くことを裁判所に求めた。次に示すのはその時の公判通知である。

被疑者

住所 宮津刑務支所在監
氏名 辻 能順

右の者に対する公務執行妨害・不法監禁被疑事件について、昭和十三年十月十一日午前九時に勾留理由の開示をするから、当裁判所第一号法廷に出頭されたい。

こうして十月十一日、峯山簡裁判所に拘置理由開示公判が開かれた。そこで、住所、氏名以外は黙秘で通

とになった。この開示公判で弁護人として私たちのために弁論を展開して下さったのが、能勢克男弁護士と小田成光弁護士である。

橋本分会长と私にも被疑者として意見陳述をする機会が与えられたので、二人は、それぞれ起つて①教育の場に警察権力を導入することは、単に私達個々人の弾圧のみならず、日教組は勿論、全労働者に対する弾圧である。これ

は政治権力により教育を支配しようとする勤評・管理運営規則と本質は同じである。②証拠隠滅の恐れがあるから句留を続けるというのではなく、私達個々人に対する侮辱であるのみならず日本の教師全体に対する侮辱である。句留継続は不当であるから直ちに釈放されたい。という趣旨の意見を述べた。

結局、検察官の主張を全面的に受け容れた北村裁判官の決定により、私達二人は、刑事訴訟法の規定する句留期間いっぱい留め置かれることになったが、みんなの激励のなかで敢然とたたかうことが出来た。

拘留期間中は、警察官、検察官、裁判官からの取り調べや尋問を受けたが、「何人も、自己に不利益な供述を強要されない」という憲法第三十八条に規定する権利を行使

した。

釈放後、しばらく経つてから弁護団から、本件に関する検察側の処分を聞いたが、それは起訴猶予

処分だった。検察側は橋本分会长や私が分会员と共に謀して学力テストを妨害したのだ、罪名は公務執行妨害と不法監禁だところじつて起訴したかったであろうが、久美浜高分会をはじめ府立高教組、京都教組、各支援団体、自覺的生徒集団の团结はそれを許さなかった。

私の人生にとって、憲法を闘いのなかで生かしたこの体验は、この中に生かしたものとなつた。（つじ・のうじゅん）

平和と民主教育を守る

丹後退職教職員の会



本を読み医療住民運動に参加する

増田葉子

憲法第二十五条

『すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。』

「この本好きの会」という会に入っている。

子供と子供の本の好きな人ならだれでも入れる全国組織の会であるが、主に丹後六町を範囲とする丹後支部での活動が中心である。

十数人の会員しかいないが、毎月の例会で読み聞かせ(最近、読み語りと言おうということになつてきているが)の実践交流をしたり、好きな本の紹介、子供たちをめぐる問題の交流など、時間も忘れて語り合う。また、あちこちへ絵本作家の講演を聞きに行ったりする。

この会にはいっているお蔭で、たくさんの素敵なお絵本に出会えた。網野町出身の梅田俊作さんの「まんげつの海」「はなびのよる」「ゆきみち」など丹後の自然の美しさが見事に表現されており、お話をよく何度も何度も子供のようにながめて豊かな気持ちに

なっている。

いわむらかずおさんの十四匹のねずみシリーズは、抱きしめたくなるほどかわいいねずみが美しい自然の中で跳びはねている。

松谷みよ子さん文、味戸ケイコさん絵の「わたしのいもうと」は中学生も泣いてしまう、いじめをテーマにした絵本でいろんな人にお薦めしている。

あまりにも素敵なお絵本がたくさんあるので(私の本箱も三百冊を越える絵本でいっぱいになつていているが)の実践交流をしたり、好きな本の紹介、子供たちをめぐる問題の交流など、時間も忘れて語り合う。また、あちこちへ絵本作家の講演を聞きに行ったりする。

この会にはいっているお蔭で、たくさんの素敵なお絵本に出会えた。網野町出身の梅田俊作さんの「まんげつの海」「はなびのよる」「ゆきみち」など丹後の自然の美しさが見事に表現されており、お話をよく何度も何度も子供のようにながめて豊かな気持ちに

の講演をメインに、高山智津子さんの「乳幼児期の絵本」江川多喜雄さんの「科学絵本の世界」乙訓支部の「小学生への読み聞かせ」「梅田俊作さんと絵物語作り」の四つの分科会をもった。

昨年から計画し、主催なんて初めての経験の中で、会員たちは何度も何度も実行委員会をもって準備をしましたが、はたして何人集まるだろうか。千五百円のチケットと広告料だけで収支はまかなえるんだろうか。などなどいろいろ心配はあったが、予定の人数をはるかに超えて百八十人程の人達が来てくださいました。そして、終了後、多くの人から「すてきな会をありがとうございました」「感動だったわ」「こんな講演会があつたらまた声をかけて下さいね」などと好評をかけてくださいました。

その後、多くの人から「すてきな会をかけて下さいね」などと好評をかけてくださいました。そして、終了後、多くの人から「すてきな会をかけて下さいね」などと好評をかけて下さいました。そして、終了後、多くの人から「すてきな会をかけて下さいね」などと好評をかけて下さいました。

「人民の、人民による、人民のための」という民主主義の原則の言葉があるが、この人民のかわりに働く人々とか、地域住民という言葉を当てはめてみたらいい。そんな医療機関をめざす民主医療機関連盟加盟の診療所なら是非欲しい。叶はるが、この人民のかわりに働く人々とか、地域住民という言葉を当てはめてみたらいい。そんな医療機関をめざす民主医療機関連盟加盟の診療所なら是非欲しい。叶はるが、この人民のかわりに働く人々とか、地域住民という言葉を当てはめてみたらいい。そんな医療機関をめざす民主医療機関連盟加盟の診療所なら是非欲しい。

というわけで、昨年「丹後健康と医療を語る会」の発足時から入会し、仲間を増やしたり、あちこちの診療所の見学に行ったり、医療保険改悪反対の署名に取り組んだりしている。

私たちの診療所は、建設場所もほぼ決まり、どんな建物にしたいかどんな設備が欲しいか会員みんなで考えて行く段階にきている「私たちによる診療所」づくりが進行している。

僻地には、恵まれないことはいっぱいあるが、文化と医療の面で

語る会に入つて活動している。

これから先、体のあちこちに力

タがくる年齢になる。

無医地区に近い宇川に住んでい

て、これは非常に心配な事である。

安心してかかる医療機関が近くにあつたらなあと思っていた時、

医師連綱領に出会つた、感動した。

「われわれの病院・診療所は、

働く人々の医療機関である」から始まる綱領はまさに民主主義そのものだと思った。

特に恵まれていらないと思う。だから私はこの条文は意義あるものだと思つ。

どこに住んでいてもより人間らしく生きる権利を主張していきたい。と同時に「第十二条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不斷の努力によってこ

れを保持しなければならない」とあるように、自分自身の手で、健康と文化をより充実したものにしていきたいと思っている。

(ますだ・ようこ)

平和と民主教育を守る
丹後退職教職員の会)

伝統と革新

鯖寿司とポタージュ

岩井 忠熊

京都に住みついて五十数年。若い時にはさほどに感じなかつた京都への愛着が年とともに強まつてきました。勿論、山紫水明の地、一〇〇〇年をこえる歴史のつみ重ねで洗練された文化にとらえられたのだといえる。しかし山紫水明はともかくとして京都の文化の精髓にふれるということは、意外に高くつくので、京都在住でもそうたびたび機会にめぐまれるわけではない。たとえば京料理である。

一口でいってしまえば私の舌は京風の味つけになじんでしまつて、他の地方の味を受けつけなくなってしまった。本当をいうと私の家は東北地方の出なのだが、たまに所用で旅行すると、そのたび

京都の間にパリのポン・デ・サールを模した橋をかけるという京都市の計画が発表され、強行しようとしたが機会があるわけがない。ただ私の記憶にあるだけで、そういっただけはある。その美味はそれに次ぐくらいの料理屋さんで、他の機会があるわけがない。

最近に多いのはホテルの立食パーティで、どこも特色のない一律のメニューにはあき足りない。大

きな高級料亭やホテルの食事になじみがないというと、結局わたくしの舌にしみついたのは、豆腐と千枚漬とフロ吹き大根の味であり、さらにいうと鯖寿司と鱈の吸い物であり、にしんソバときつねうどんである。それらには祭りのハレにだけ食べる御馳走もあるが、ほとんど庶民の日常の食事だ。京料理の粹といわれるものと京の庶民の食生活がどのような関連と対応関係で発達したのかは知らない。だが両者が双方に影響しあつて現在の京料理とおばんざいになったことはたしかだらう。

去年になつて鴨川の三条と四条

家」といった京料理を代表する料亭の門をくぐつたことはない。たまにそれに次ぐくらいの料理屋さん

で、「小京都」を名乗る都市がいくつあることか。本家本元の京都に住む人間の責任をいや応なく自覚させられる。

戦後はさておき、京都は日本民主運動史上の輝ける巨人を送り出した土地である。河上肇・山本宣治・細井和喜蔵・国領五一郎・谷口善太郎・河田賢治がすぐに頭にうかぶ。河上・山宣は学界、細井は日本資本主義をささえた紡績産業の『女工哀史』の著者、国領は

それで、私はそれでは鯖寿司とポタージュスープと一緒に食べさせられるような異和感をもつという心をいうと、ワインをチビチビやりながらの洋食も苦らいでない。スープはポタージュがいい。しかし鯖寿司とポタージュが一緒に出されても、両方の独自な味わいは消え去つて、何ともいえぬ奇妙な味わいを殺してしまいたくな。これは意地ぎたない筆者だけの願いとはいえないだろう。京都にあこがれる人は全国におり、世界にいる。日本には南から北まで「小京都」を名乗る都市がいくつあることか。本家本元の京都に

業、谷口はおなじく清水焼と文學・映画、河田は第一次大戦後に日本の基幹産業となつた機械工業労働者の出身。活動分野はさまざまだが、學問・文化・地場産業・基幹産業のいずれも。京都という土地の地盤の上に根をおろしている点で共通している。加えていうならば全国水平社は岡崎の公会堂で創立大会がもたれ、野呂栄太郎らが検挙された治安維持法違反適用第一号は、京大学生集会所でもたれた学連事件だった。京都はたしかに日本社会運動史上的一大舞台だったのである。

戦後になって京都の民主運動の一隅に加わった者にとって、そのような大先輩はほとんど遺文を読み、事跡の記録にふれただけで、直接に風貌に接し声を聞いたのは、谷口善太郎・河田賢治氏だけだ。河上肇さんは『自叙伝』とその詩文に親しんできた。しかし文章を読み話を聞くと、その人間がわかつてくる。かつての蜷川知事のユーモアをただよわせていたのもただの理屈屋ではない。情操ゆたかで、はげしい闘志の中に余裕やユーモアをただよわせていた。その根源はどこにあつたのだろうかと考えさせられる。わたし自身に欠けているからである。

情操・余裕・ユーモアとは何かと

いう小むずかしい議論は苦手だ。

ただそれらに私たちが感銘できるのは、大先覚者たちと私たちとの間につながる何者かがあるからだといえるだろう。私はそのつながりのすぐなからぬ部分に鯖寿司に舌づみをうち、きつねうどんをすすつた京都の庶民生活とその感情があるよう見える。あの先覚者たちも現在の私たちと同じように新京都駅舎やポン・デ・ザール橋の愚劣に怒り、反対するだろうことはまちがいない。それはただのイデオロギーの問題ではない。そこに生き、そこで考え、しごとをしてきた者に共有される感情があると確信しているからだ。

京都の特徴は伝統と革新の併存だといわれて久しい。しかも往々にして両者は矛盾するといわれてきた。しかし私にとって伝統と古美術に感動することだ。またいつまでも鯖寿司をむさぼり、きつねうどんをするというささやかな楽しみをつづけることでもある。しかし時代は確実にうつっていく。そこで伝統をどのように育て発展させていくのか、それ自らに問いかつ実践するのが、私の革新である。ただ鯖寿司とポタージュを付け合わせるのが、伝統と

も革新とも無縁であることは、ただ自明というほかあるまい。

「鴨川に外国の橋はいらない」

という意見に対し、市当局は

「それは排外主義だ」と答えたそ

うである。まるで非見識の見本のような答弁だ。排外主義とは、自分だけが正しく他の国や民族はみ

な間違っているという独善的な思想のことだ。自他ともにそれぞれの文化を大事にし、たがいに尊重することは、むしろ排外主義の反対である。この道理の分からない

やからは、多分、鯖寿司とポタ

ジュを受け合わせてお客様をも

てなすことが、排外主義ならぬ国

際主義と弁えているのだろう。

今年は京都府知事選挙と参議院選挙の年である。ここは政治的主張や選挙運動を展開する場ではない。しかし最高裁判決で大野裁判（前・戦時とともに戦後もすでに歴史となつた部分が多い。京都地方裁判第三次訴訟）のである。戦

前・戦時とともに戦後もすでに歴史となつた部分が多い。京都地方

裁判所はほろびる（教科書

は、山紫水明を愛し、そこに伝わ

った学問を学び、詩文に親しみ、

古美術に感動することだ。また

いつまでも鯖寿司をむさぼり、きつ

ねうどんをするというささやか

な楽しみをつづけることでもあ

る。しかし時代は確実にうつって

いく。そこで伝統をどのように育

て発展させていくのか、それ自らに問いかつ実践するのが、私の

革新である。ただ鯖寿司とポタ

ジュを付け合わせるのが、伝統と

◆会員来信◆

源 照子

『前衛』七月号の稻田さんの
「鴨川民主府政をふりかえる」を

読みました。

当時、高校全入運動の渦中にいた者として、府庁の廊下に座りこんだこと、知事さんがお仕事の合間に出て来て下さってお目にかかることができた日のことなど、忘れられない思い出です。

今回の稻田さんの文を見て、當時の私共の行動（川の中の魚に川は見えない）状況の中にいた者にとっては「川」を見せて頂いた感じで難く思います。蜷川さんは近辺に稻田さんのような理解をもつた方が居られたからこそ民主府政が進行できたのだ、蜷川さんは偉大だが孤立していなければ、川の中の雑魚のことを知つていて対処して下さったのだと改めて御礼申し上げたい気持ちです。今でもオレンジ色のスカーフは私たちのシンボルとして用いています。

メーデーの行進で府庁の門の前を通る時、クライマックスになつてジグザグデモをしました。府政見学ツアーオーに参加して鴨川府政の学習もしました。長田野工業団地、

堀川高校の屋上に一学級の教室を造ったこと、舞鶴港のこと、養護老人ホームのことETC。お米屋さんでは京都食管の話もしました。紺地に白地で日本国憲法全文が書かれた屏風のポスター版は今も玄関の所に掲げてあります。手のひらに乗るポケット憲法の本も持っています。ですから稻田さんに「読後感」を書き送りたいと思いましたがオコガマシイ思いで遠慮しています。

堀川さんが学生時代、東京の本所区の中学？高校？へ通われていた江東橋の近くに錦糸堀の駅があり、その近くの茅場小学校へ通っていました。四角いインクビンをぶら下げて通う高校生は私どものアコガレの的でした。堀川さんは海が好きで水産講習所へ通われたこともあるとかです。……つまり奥村先生の編集になったので、ついで感謝の気持ちを何かの折りにお伝え願いたく思いました。里井のぶさんも全入時代にご一緒したし、家城薰さんも、山岸節子さんも、そして品角先生とは左京母連で御指導頂き、丸太町川端にあつた教育会館（奥村会館）でも会議をもちました。

奥村三代子さんとは、東山新婦

老人ホームのこと、養護老人ホームでは京都食管の話もしました。紺地に白地で日本国憲法全文が書かれた屏風のポスター版は今も玄関の所に掲げてあります。手のひらに乗るポケット憲法の本も持っています。ですから稻田さんに「読後感」を書き送りたいと思いましたがオコガマシイ思いで遠慮しています。

堀川さんが学生時代、東京の本所区の中学？高校？へ通われていた江東橋の近くに錦糸堀の駅があり、その近くの茅場小学校へ通っていました。四角いインクビンをぶら下げて通う高校生は私どものアコガレの的でした。堀川さんは海が好きで水産講習所へ通われたことがあるとかです。……つまり奥村先生の編集になったので、ついで感謝の気持ちを何かの折りにお伝え願いたく思いました。里井のぶさんも全入時代にご一緒したし、家城薰さんも、山岸節子さんも、そして品角先生とは左京母連で御指導頂き、丸太町川端にあつた教育会館（奥村会館）でも会議をもちました。

人事事務所ができるまでお宅の台所にトーチャ版を置いてニュース作りに小松さんなどと集まりました。当時三代子さんは「私ひとからチヨービヨー」といわれる、と云われました。「チヨービヨーって」と私がうかがつたら、「組なら組長、支部なら支部長、何でも長にされてしまう」と大忙しさに大変な様でした。奥村先生を講師に（数一しか学ばなかつたので数三や立体幾何学などを教えていただく班をつくれたらと思いましてが仲間ができなくて消滅！」）。何でも屋は何にも屋で何事も完成できずじまい。何か専門を持ってと父に云われましたが未完ばかり。知恵の実よりも甘い西瓜が好きなので……。

一二月八日が来れば満八五歳になります。

二〇世紀のまん中を生きてきました。

二一世紀には、素晴らしい日本のリーダー京都府政。

日本国憲法の精神が貫けるようにと希望しながら……。

「燎原に立とう」みんなで力を協せて！

一九九七、一一、一一
(みなもと、てるこ
東山区在住)

ある日の朝七時、仕事場の梅小路駅の運送店に働きにいって一日中仕事をし夜おそらく家に帰ると、母が

「大変だ、日比野一夫があぶない」と知らせてくれました。私は早速日比野君の家に行くと本人は苦しついでいます。

私はすぐ半谷君の家に連絡しました。市会議員になったばかりの半谷君もビックリしていましたが「明日病院に世話をしよう」といってくれました。

朝、日比野宅へいくと何とかしなければ、人命があぶないのです。神田に話を聞いて京都市の宇多野国立療養所に入院できました、市会、府会議員の力は大きいものだなあと思いました。

この話を聞いた中京区あたりの労働者は、皆んな感謝していました。日比野君は急速入院をして元気を回復し家族の人もよろこんでいたのです。中京区の白田英雄君もわしの友人で労働者農民の前衛

闘

争 前編(五)

田 中 豊 蔵

等は染勞の人々に訴えてカンパをしてくれ、入院費が大変助かったのです。日比野君の母親は浜田染工の三百五十名の炊事婦にかよい十五六年も働いています。

ところが折角宇多野病院に入院した日比野君が突然死去したのです。入院から一年二ヶ月たつていても先生や職員・看護婦さんのも厚い介抱にもかかわらず薬石の効も空しく病院で亡くなってしまったのです。

日比野君は年も若く今ならよい薬もあるので助かったと思いますが、プロレタリアの社会実現をまぶたに描いていたのですが、闘争場裡に露と消えたのです。

その四、五日前、私は姉さんの尾間屋宝太郎さんの奥さんに出合つて聞くと「大部悪い」とのことでした。

私も夕方見舞いにいきましたら、日比野君が私の手をにぎつて涙をこぼしていました。

「田中君も、三・一五事件にやられたと聞いてビックリした。

党の代表として参加したのは偉いなあ……わしはとても元氣づけられた、わしも死期が近いと思うが、田中君も元気で頑張つてくれ……」

としつかり手をにぎり泣いていました。こうして日比野君と病院で別れたのが此の世の見おさめでした。あれから一週間あまりの死でした。

日比野君の葬式は家でとり行われ労働組合の人々も半谷市議、神田府議も来てくれました。奥村府議や菱野市議の花輪も見えました。見送りの人々は町内はもちろん労働者農民二百人ばかりのお参りです。立派な葬式でした。

東九条の生んだ活動家、青年同盟の一夫君の名は広く知れわたりました。上海港に渡って横死した染労の高原夏樹君と日比野君は東九条の労働運動の生き字引でした。後年、東九条の運動が発展したのもこの二人に負うところが大きいのです。私の活動をより以上に仕上げてくれたのもこの二人だと思っています。

十四・一六事件と私

私は三・一五事件で京都府本部の特高課の上警部、杉本警部補他、七条署の新撰組と名のる連中のひどい拷問をうけ、柔道で投げ飛ばされきびしい取調べを受けたのですが、それは何かと考えてみ

ますと、私はまだ共産党に入ってはいませんでしたが、労農党や日本農の事務所によく出入りし、

常々 同志たちはどうとんをたへさせ、飯をごちそうし、夏には冰水

を差入れ党の活動家を心から援助して来ました。これを警察が見ていたのです。度々大石橋の労農党と日農と青年同盟の事務所の近くで七条署のボリスと会ったこともあります。私は運送労働者として働き父母弟妹四人の生活を支える原動力になっていました。それで自分の家の馬や車両をもつてい

で、これでかせぐものだから常に小金をもち同志達を援助できたのです。この安定が敵に買収されずうら切らず、ビラもまき、ストライキにも参加し、争議支援にものい

時は東九条の染労の事務所や支部で活動し、私も彼の推せんで青年同盟に加入し若い人々を結集させました。皆んなの協力で折角入院できたのに本当に残念なことでした。

きましたが、仕事をうばわれてしまふことがかなわなかつたのです。だから私は共産党には参加できなものと思い込んで父母たちにも「父母弟妹を養う基盤がなく

私は、そのたびに
「そんなことはない、そんな
とはない」
といいはりました。

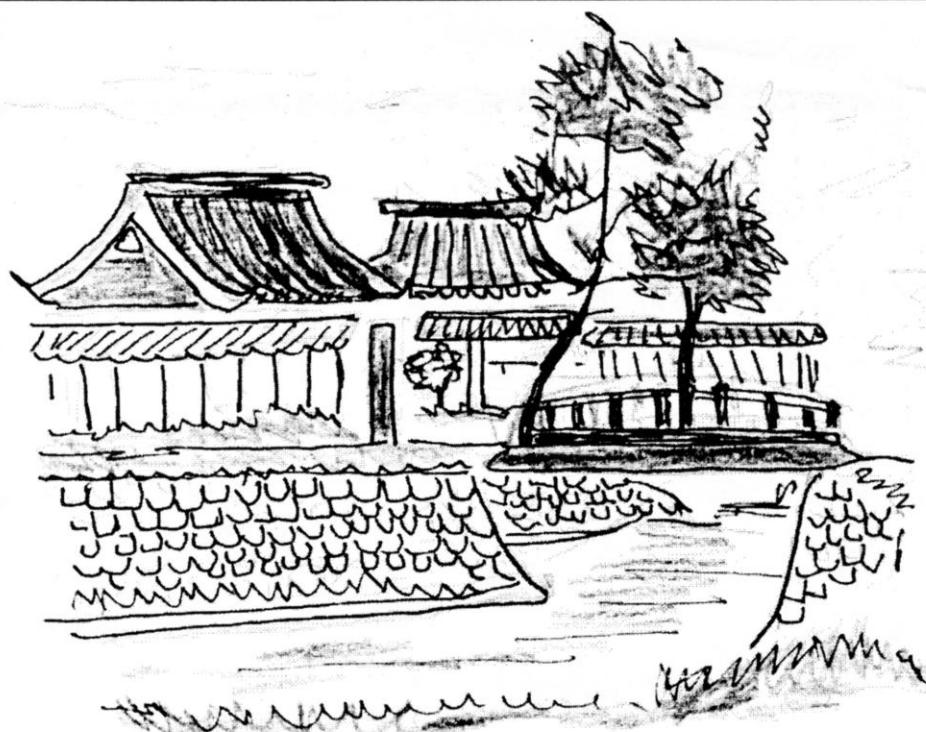
私は節をまげず反動の資本家と闘わねばならない、あんなやつは何を言うてやるかと思つていまして、た、節をまげてしまつたら一生台なしです。資本家・地主の犬にこびをうつっているやつはあわれむべきものだと思っていました。実際私はまだ共産党員でなかつたので、長い間の拷問にもかかわらず何んにも出てこないのですから結局は釈放されたのです。

こうして多くの活動家や党員を檢束し取りしらべをうけたのです
が、当局は結局、農民組合の主事であった、私の友人、泉隆君と古
大の大門英太郎君、この他、元染物労組にいた氏家正人の三人を起
訴したのです。

これは世にいわれてゐる四・一六事件の京都での状況でした。

十一、第一回普選

私は四・一六事件で七条署に一ヶ
月間検束され、泉隆君のこととて取
調べをうけました。泉君は、この
前にも述べた様に、東九条大石橋



本願寺山科別院と四ノ宮川

画:崩場弘

'うたごえ' よ高らかに(その一)

志摩肇

'闘争' 前編(六)

田中 豊藏

田中豊藏氏を悼む

'燎原' 総目次(七)

御案内 総会と春の例会

安井眞造氏訃報

編集委員会より

編集後記

「うたごえ」よ高らかに —京都の「うたごえ運動」の歩みから(その二)

志摩 肇

前号では青共京都合唱団ーその後青年共産同盟が民主青年同盟に改称されたのに伴い、合唱団自体も民主青年同盟京都合唱団に改称ーの創立から一九五〇年メーテー迄の歩みを書き、本来はこの続きからスタートすべきだが、その前にニナ川さんに関する思い出から出発したい。

ニナ川さんが民主戦線統一候補として、京都府知事に出馬を表明されたのは円山音楽堂集会席上であつた(その正確な日や集会名稱は忘れた)。私たち民青合唱団もこの集会に参加、演奏終了時も主催者の要請により、演壇の後で横断幕ーそれに書かれていた文字は忘れたーを手に、会場一杯にあふれる参加者と向き合っていた。この風景は確かに写真に取られていたが、残念ながら紛失している。

この年のメーテーは、京都市長・京都府知事選挙勝利でおおいに意氣上がり、この年六月の参議院選

たニナ川さんは、いきなり有名な「反共は戦争前夜の声であります」との言葉から挨拶を始められた。普通誰でも、ただ今御紹介に:と始めるものだが、ニナ川さんは即本論に入られた。

当時は米軍占領下、前年の総選挙で共産党がナンと一挙に三五議席に超大躍進したものの、この年六月の朝鮮戦争開戦直前でそのために日本を後方基地としようとする反動攻勢がレッドバージの嵐となり吹きすさぶ中での、ニナ川さんの勇気有る言葉に全参加者はこれに熱狂したのである。

私たち民青合唱団は、その歴史的瞬間を文字通り目の前で見聞きした光栄に加え、今もある時のニナ川さんの若々しい姿と声が目に耳に浮かぶのである。

明けて一九五一年一月、川端丸太町下がるにあつた「和風書院」が借りることになり、家主との関係で「民青合唱団の名では「チヨット」ということから、合唱団名を現在の「ひまわり合唱団」に改めたのである。

この命名者は団創立参加の一人鈴木千鶴さんで、当時の雑誌掲載画像からヒントを得たと後日明らかにされている。

挙での京都地方区の大山郁夫統候補も参加、三人がスクランを組みテモの先頭に立った姿は、その後革新のとりで京都の未来を示すものだった。

このメーテーでも民青合唱団は私が弾くアコデオンを先頭に参加、「メーテー旗」「赤旗の歌」「世界をつなげ花の輪に」「晴れた五月」等をデモの中で唱いまくり、府庁前の柳並木を唄いながら歩くその姿は京都新聞の紙面を飾った。

メーテー後民青合唱団は、参加団員の職場に「みんな歌う会」を拡める活動を展開した。一方合唱団の練習もいつ迄もお寺の本堂前ではやつておらず、「どこかよい練習場は無いか?」と八方尋ね歩いた。

明けて一九五一年一月、川端丸太町下がるにあつた「和風書院」が借りることになり、家主との関係で「民青合唱団の名では「チヨット」ということから、合唱団名を作ろう」との声が出て、国鉄大井の労働者山岸一章が煙突の上で書いた詩に、中央合唱団員岡田和夫が作曲の「民族独立行動隊の歌」を皮切りに、その後「原爆を許すまじ」「あわせの歌」等が創られ、これらの歌が闘う仲間一人一人の心に呼び掛け、団結と統一を進め

る大きな役割を果たしてゆくのである。

五〇年の実践を経た今から思うと、「音楽運動の面から見れば、青年社会的音楽運動」であり、青年社会運動の面から見れば、音楽的青年社会運動」という、私たちの哲学に言う「対立物の統一」そのものだった訳であるが、当時それに気がつかず大問題として左右に揺れていたのである。

♪「単独講和とは何のこと?...」

「全面講和とは何のこと?...」

これは旧ソ連引揚者で組織する「帰還者樂団カチューシャ」のレパートリー「合点だ」の替え歌である。

合唱団の目的、性格論議を開わす中でも、情勢は一時たりとも止まる事を許さず、吉田内閣の單独講和に反対する運動が全国をかけめぐり、ひまわり合唱団もこの替え歌でこの運動に参加した。

また「次に原爆を使用する者を戦争犯人とみなす」という、ストックホルムからのアピールを支持する署名運動を京都で始めて取組んだ。

♪「解放のため、尊き生命をとして……」が始まる「平和を守れ」の歌を唄いながら、高島屋前で進

めた署名運動は京都の民主勢力から高く評価された。

またこの年の十二月には「ろじん祭」に出演、♪「吠えろ黄河……」で始まる黄河大合唱の京都初演も行つた。

♪「屍を積み重ねなばバリケード やがて輝く明日を信じて」

解放運動の中で倒れられた、小林多喜二・山本宣治・河上肇等大先輩をたたえる集会でも、ひまわり合唱団に出演要請がかかり私は前記の歌を捧げた。

このはしりは一九五二年三月、宇治の山宣祭だが、最近は毎年五月知恩院での解放戦士追悼祭で、ひまわり合唱団OB・OGで組織する団友会を中心に、昨年迄は「同志は倒れぬ」を、今年からは新追悼歌「いのちの限り」を讃歌する活動につながつている。

—以下続く—

闘

争 前編（六）

以上の趣旨を御理解下さい。

* うたごえ運動の歩みも五〇年

を迎え、一九九八年一月二十五日には、大阪ドームで二万五千人

による「記念大音楽会」が開かれます。

京都からも、出演者一〇〇名を含め一五〇〇名参加目標で取組みが進んでいます。

もちろん私も出演・参加の予定です。

(しま・はじめ 京都ひまわり合唱団創立参加者)



一、兵営に反戦ビラ
一九三〇年、三一年（昭五・六）

になると政治に軍部が台頭して来まして政局はあわただしくなつてきました。軍部が急に大きくなり世間の無産政党、労働組合・農民組合外一切の組合が政府のいいなりになりました。右へならえとい

う次第です。共産党と左翼の良心

的組合は表面には出られません。地下活動を余儀なくされていました。

丁度その頃、全水の西林治三吉君が十二月一日に第三八連隊野砲隊に入隊しました。私達無産青年同盟は赤旗をたてて西林君を見送に行くことを決定しました。

※ 京都でのうたごえ運動と、その中心のひまわり合唱団の歴史と評価は、正式な機関が責任ある関係者の検討でまとめられるはずで、此文は「あく迄志摩個人」の記録と記憶、そして判断から運動の一断面をまとめています。

当然異論もあるでしょうが、

当時の軍部は中国に干渉しはじめており、中国の資源に目をつけ広大な土地にあこがれ、今にも出兵せんとしていたのです。

私達は地下の全協（労働組合全国協議会）の方針で中国干渉反対のビラまきをしました。

丁度その頃、全水の西林治三吉君が十二月一日に第三八連隊野砲隊に入隊しました。私達無産青年同盟は赤旗をたてて西林君を見送に行くことを決定しました。

京都下京区塩小路橋の所で先頭に軍服をつけた西林君の砲兵隊の黄色の襟章が大変あざやかでした。西林君の自宅に集合した私たちは、伏見支部西本健太郎・馬渕・中野健・高島・阪本。七条支部では山本小三郎・中央市場に行つていた竹田・上田兄弟。瀬川兄弟。崇仁学区からは在郷軍人会、親分関係、水平社同人、約三百人以上、時間は六時集合、お酒が出て勢いが盛んになり万才万才と。声高く出発しました。

塩小路橋にさしかかると角に派出所があります。先頭は青年同盟の旗持ち田中豊蔵一等兵、軍服姿です。京都合同労働の赤旗もなびきます。七条署のボリスが、干渉しました。七条署の特高課坂根甚左エ門をはじめ山本・福田・片岡など二十人ばかりが飛出して来ました。赤旗をもつていた水平社同人の山本小三郎を検束……先頭の田中を検束しようと飛びかかりました。すると在郷軍人会々長の糸川中尉が、「おい、まて：軍服を着ているものに手をかけるな、おそらく天皇陛下からいたいたい軍服だぞ……」と大声でどなりました。七条署の特高課員はビックリして身を引きました。一度見送り人は大きさになりましたが、特高課員はすぐ憲兵隊七条分遣隊

に電話をしました。これは大変、私はすぐ見送り人に交代して旗をわたし、七条大橋の電車通りの今まで走り行へをくらました。後のことば知りません。

こうして旗手を交代した私は、京阪電車七条駅から伏見の師団前駅まで逃げました。駅で下車して三八連隊に行き、先まわりをしたのです。野砲隊にはまだ西林君らは到着しておりません。当日は入隊式で各連隊は不礼講です。何人でも隊の見学が出来ます。大勢の人々が入隊して来ていました。

私は軍服です。中国出兵反対のビラを地下の人からたのまれて持っていました。検束されたら大変です。京阪電車で逃げたのがよかつたのです。連隊の衛門にはひかえの下士官がいます。私は敬礼して入隊。人目をしのんで隊内の廊下の下駄箱、便所などに人に見られない様にして三十枚程のビラをまき、隊の酒保にいきました。

私はうどんとおでんを注文して三つで十銭でした。ビラののこりをテーブルの下に入れて酒保を出ました。裏手の土堤の鉄筋網の間にねてある所があり、土がやわらかい所がありましたので手で土を掘つて、頭から外へ出ました。野砲隊の軍人が常に出入りしていると思いました。私は外に出られ、

通行人もとだえており安心していました。そして衛門の所に帰つて来てから一寸、取調べを受けました。ビラまきについては入隊の見学人も取調べられたとの事です。私は、その場は何となく一寸取調べられただけで帰宅できました。が、後日の新聞にビラ問題が出ています。

では重営倉がまつている。これは大変なことになつたと思って、「申し上げます。自分の母の妹は滋賀郡笠縫村字新堂、籠内繁資郎の二女であります。京都市東山区三十三間堂の向いの賀陽宮殿のおつきに上つております」と直立不動の姿勢で声高らかに申し述べました。すると憲兵中尉を初め隊員一同「氣を付け：敬礼！」と直殿のお名前に、皆んなの隊員がピックリ「よおし休め」といいました。そして隊長は小声になり「貴様はピラはもつていかなかつたのだなあ」「はい、そうであります。私は宮殿下のお屋敷に常に出入をさしてもらつておるのであります。ピラは絶対知りません」中尉は、「よし、帰れ」といつて門まで送つて帰えることが出来ました。本当にあぶないピラまきでした。

東山線通りの今熊野電停東入ルに
よい事務所が見つかりました。東
海道本線南側の二階建の大きな家
でした。

私達一同大喜びです。大塚有章

さんは京都地方労働組合に檄文を
送り陣頭指揮をとられボツボツ組
合員加入がふえはじめました。

陶磁器組合の坂本時三、染勞は
南善蔵、瀬野、北川染工場組合長
の山村さん、梅小路駅の労働組合
準備会の田中豊蔵、全国水平社の
池岡信一、田中水平社の有志、羽
根田兼道、小林、数少ないながら頑
張りました。

大塚さんの斗いはものすごいも
のでした。宇治レーヨン会社と交
渉、とても元気に斗いました。

大塚氏は京都・滋賀県のレーヨ
ン会社の労働者に働きかけま
した。伝單の原稿・印刷一切を引受
け、大きく活動されました。

大塚氏は宇治レーヨン会社の前
や滋賀県で、特高のポリスにつか
まえられます。大塚さんの名前は
段々有名になり、弾圧は益々強化
されて来ました。

この様に弾圧がはげしくなって
くると京都の府会議員神田兵三市
会議員半谷玉三外は右えならえと
なつて行きました。奥村甚之助さ

んも段々堕落して政友会府議の方
から金を借りたりして贅沢な生活
をしていました。労働者の側は怒つ
て神田、半谷の除名を決議しまし
た。

大塚、坂本、南、山田、田中など
は組合の集会を開いて右傾化し
てしまつた連中の除名決議をあげ
たのです。奥村甚之助は大声で「除
名は反対だ」とどなつていきました。
大塚氏はじめ皆んなは、「資本家の
代弁者政友会京都支部の北村平三
郎から大金を借りたのは裏切り
だ」といつて反論しました。

五、六日たつて三条青年会館で
演説会を行つて、奥村甚之
助府議が嵯峨駅を横切り日農の会
長森英吉宅へ行くために近道をし
て線路を渡つたのですが足を汽車
にひかれて重体だ:ということが
報告されました。

月日は流水の如くたちました。
大塚氏が京都地方の運動をもり上
げて下さつて各組合員も元気が出
ました。ところが大塚氏も検挙さ
れ一ヶ月に渡りました。例のレー
ヨンの運動で京都と滋賀をたらい
まわします。それから東京にいか
れました。突然、満州の開拓農民

の指導者にいかれたということです。
その事情は私には詳しくはわ
かりませんが、政府や軍部の命令
ではなかつたかと思います。當時
の新聞が報道していました。
また、長野県の教員グループで
争は、人殺しの人数あつめであり

ます」と言うと七条特高課が「檢
束する」といつておどしました。

学区内では大石橋、陶化尋常高

等小学校の大学区です。東九条で

学区会議員に立つたのは、私の名

誉であつたと思います。落選はし

たが今迄の斗いが大切だと思いま
した。たゆまず進むこと、われら

赤旗をかかげたゆまず進む、プロ

レタリア解放の為にというのが私

の信条でした。

大石橋の演説会には大塚さんや
南善蔵さんが応援に来てくれまし
た。選挙の演説会は大入りでした。

私は一生懸命に労働者の生活の向
上について申し述べました。しか
しボリスが臨監していますので、
あまり露骨な政府批判は出来ませ
んでいた。

共産黨の運動をされた方々は満州
に送られ開拓農民と共に働かされ
た様に新聞に出ました。

満州では中国軍隊と共に働かされ
た様に新聞に出ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

がおこり、関東軍にも援軍を送る
ために日本の師団も動員令が下り
ました。北海道師団が初めて動員
され青森、長野、金沢、京都の各
師団です。京都伏見の十六師団に
召集された予備兵・現役兵で京都
の梅小路駅もごつたがえしていま
した。今までの組合運動は段々出
来なくなつて来ました。

原 燐

伝するものもいます。

私は十二名中、一番目の当選、百五十票でした。長年の運動で区民になじみが有り、常に区民の生活の向上をはかるため奮闘をしておりましたので私の話をよく聞いてくれました。それで当選しました。

田中豊蔵氏の逝去を悼む

本誌88号から回想を連載されてきた田中豊蔵氏は二月四日に急性肺炎のため亡くなられました。九四歳。労働者・労働運動家・民主運動家としての足跡に深く敬意を表し、六日の告別式には会代表として岩井が会葬しました。なお田中氏の遺稿は引きつづき掲載の予定です。謹んで田中氏の御冥福を祈る次第です。

『燎原』総目次(七)

第八六一第九七号

第八六号(P12) 九三・一・二〇

佐川事件におもう(市田忠義)

稻田達夫・岩井忠熊・岡本康

奥村和郎・亀田得治・木村万平

清水裕・田畠忍・寺前いわお

西山とき子・藤谷俊雄・馬原郁

蓮佛亨)

第八七号(P8) 九三・三・二〇

農民運動散歩記(三)(品角一

郎)、御室民主会議についての覚

書(立原昌保)、続・目で見る京

都の民主運動史、①(湯浅貞夫)

定です。謹んで田中氏の御冥福を

祈る次第です。

第八八号(P10) 九三・五・二〇

農民運動散歩記(四)(品角一

郎)、生涯を労働者として、南

区の田中豊蔵さんの活動(上)、

聞き手 湯浅貞夫、戦後初の共

産党宇治市議、山中登氏に聞く、

奥田修三

第九六号(P10) 九四・一・二〇

農民運動散歩記(十・完)(品

角一郎) 泉隆・病床日記(2)

泉隆・病床日記(3)、記録 丹

後ちりめん闘争(1)(川戸利一)、

昭和20・8・15 あの日も暑か

った(話し手 山本浩治、聞き

手・書き手 千丸智代)

第九五号(P10) 九四・八・二〇

近詠十首(品角小文)、記録 丹

後ちりめん闘争(2)(川戸利一)、

細野武男先生を憶う(奥田修三)

奈良電ストなど(長村恒三)

ともに歩んで三十年(二)(橋

本雅弘) 記録 丹後ちりめん闘

争(3)(川戸利一) 私の思い出

細川内閣(蓮佛亨)

奈良電ストなど(長村恒三)

ともに歩んで三十年(二)(橋

本雅弘) 記録 丹後ちりめん闘

争(3)(川戸利一) 私の思い出

奈良電ストなど

◆御案内◆

総会と春の例会

とき 四月一七日(金)

一三〇～四：〇〇

京都教育文化センター二〇五室

おはなし 日米ガイドライン問題と憲法

山下健次さん(立命館大学特任教授)

交渉中

総会議題 活動報告 活動方針 会計報告 予算

人事その他



安井眞造氏訃報

本会員安井眞造氏は昨年十一月二十三日に亡くなられました。御遺族よりの挨拶状を御紹介します。

厳しい寒さの中にも花や木々が早春の準備をはじめる頃となりました。先般 父 安井眞造死去の際にはご丁重な弔意をいただき誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

故人は大正六年十一月三十日京都府雲ヶ畑村で生まれました。小学校三年生の時より上賀茂の叔父の家にあずけられて暮らした少年時代、教師を志して師範学校に進み、蹴球部で白球を追つた青年時代、教壇にたち疎開先で子供たちを守り、そして兄と弟を失つた戦争の体験、こうした体験を通して、戦後、教員組合運動に参加し、日本共産党に入党したこと、以来半世紀を京都の地で政治革新に邁進したことなど、時代に向かつて常に前を向いて歩んだ生涯でした。

晩年、家業の林業は私にまかせ、四季の花つくりに精をだし、道行く人の花言葉にはほえむやさしい一面も持っていました。おかげさまで、良き先輩や良き友人、知人に恵まれ、多くの方たちと交遊を

深め豊かな人生を送る事ができました。何よりも安井賀寿という良好な伴侶にめぐまれ、迷う事なく自ら信じるところに邁進できたことは幸せなことでした。

昨年入院し、昨年三月には気管切開し言葉を話せなくなりましたが、東京都議選での共産党的躍進や城陽市長選での革新市政の実現を伝えた時には胸を彈ませていしたこと、毎週の「赤旗声の日曜版」を身を引きしめ聴いていたことなど、最後まで矜持を失いませんでした。

故人が賜りました生前のご交誼に心から御礼申し上げます。本来なら直接お伺いして御礼申し上げるべきところですが書中をもちまして謹んでご挨拶申し上げます。

一九九八年二月

安井昭夫

(安井眞造氏は日本共産党名誉幹部会委員・名譽京都府委員長)

◆編集委員会より◆

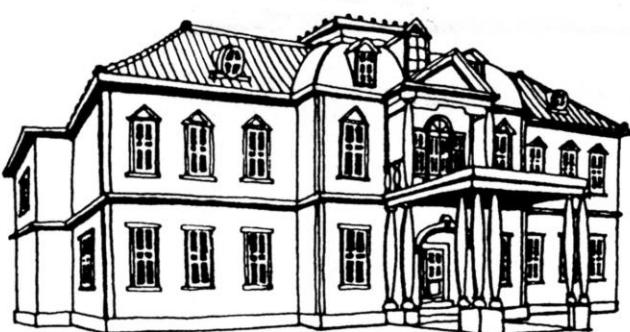
会員短信・近況報告と募集

特定のテーマについてある時期を回想するためには、正確を期すために調査も必要な場合があります。それではつい面倒となってしまうことでしょう。そんなことで重要な史実がうずもれてしまうままになるのも残念なことです。

そこで二〇〇字以上くらいの短い信で、思い出されたこと等を自由に書いたり、自己紹介していただく欄をもうけました。古い仲間たちに消息を知らせ合う近況報告でも結構です。ふるつて投稿くださるようお願いします。

郵便番号のお願い

郵便番号七桁の施行により、連絡、発送等に正確・敏速を期するため、直近の機会に七桁の番号をお知らせ下さい。ハガキで結構です。特に京都市中心部にお住まいの方にお願いします。



◆編集後記◆

沖縄の名護市長選は意外の結果におわりましたが、当選した新市長もヘリポート海上基地問題は県の判断に従うと言明し、大田知事はヘリポート海上基地に反対の意志を表明しています。今から米政府は査察問題でイラクへの武力攻撃方針を公表し、日本の基地から空母インデペンデンス号ほかがペルシャ湾に出動しました。日本政府は全面的に米政府支持です。平和解決を主張する安保常任理事国があり、現時点ではまだ行先不明ですが、日米関係だけでいえば、早くもガイドライン改訂の危険性がばくろされたといってよいでしょう。

国内では行財政改革と不況克服を看板にしてきた橋本内閣が、三十兆円の大銀行支援で支離滅裂となりました。日本は一体どうなるんだ? 国民の不安です。四月の京都府知事選挙、七月の参議院選挙は、事態を開拓するための有力なキッカケといえましょう。

この号には久しぶりに総目次をつけました。御活用ください。インフルエンザまんさんの報があります。くれぐれも御自愛を。



会および会報については、左記へご連絡ください。

(事務局)

〒六〇五一〇九九三

京都市東山区今熊野

南日吉町三九 奥村和郎

TEL FAX ○七五五六一七四八五